

## ティンメン／事の起こりはキャデラック (1987)

TIN MEN

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

時間 112分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

## 【解説】

時は1963年のボルチモア。セールスマンのビリー（ドレイファス）は新車のキャデラックを購入、道に出た途端に追突されてしまう。相手はティリー（デヴィート）という男で同じくセールスマン。それも同業のティンメン（住宅用のアルミ製外装材販売業者の意）であった。まさに犬猿の仲のような二人は悪態を付き捲った挙げ句、ビリーの一言が原因でそこから復讐合戦が始まってしまう。ティリーはビリーの車を見つけるやフロント・ガラスを叩き割り、それを知ったビリーはティリーの女房（ハーシー）を寝取ってしまう始末。しかしその頃お互いの会社では詐欺まがいの悪徳商法が問題になっており、取引委員会の聴聞会が開かれようとしていた。そしてその渦の中に二人も巻き込まれて行くのだが……。

「レインマン」を撮る前のレヴィンソン監督による男の悲哀を漂わせたコメディ・タッチの人間ドラマ。役者陣の控えめの演技とソツの無い演出でそこそこ楽しめるものの、ストーリーが平坦な物だけに小じんまりとした感は否めない。

## 【クレジット】

|    |              |                  |
|----|--------------|------------------|
| 監督 | バリー・レヴィンソン   | Barry Levinson   |
| 製作 | マーク・ジョンソン    | Mark Johnson     |
| 脚本 | バリー・レヴィンソン   | Barry Levinson   |
| 撮影 | ピーター・ソーヴァ    | Peter Sova       |
| 音楽 | デヴィッド・スティール  | David Steele     |
|    | アンディ・コックス    | Andy Cox         |
|    | ローランド・ギフト    | Roland Gift      |
| 出演 | リチャード・ドレイファス | Richard Dreyfuss |
|    | ダニー・デヴィート    | Danny DeVito     |
|    | バーバラ・ハーシー    | Barbara Hershey  |
|    | ジョン・マホーニー    | John Mahoney     |
|    | ジャッキー・ゲイル    | Jackie Gayle     |
|    | スタンリー・ブロック   | Stanley Block    |
|    | シーモア・カッセル    | Seymour Cassel   |
|    | ブルーノ・カーバイ    | Bruno Kirby      |
|    | J・T・ウォルシュ    | J.T. Walsh       |
|    | マイケル・タッカー    | Michael Tucker   |